

青山学院大学スポーツキャリアプログラム (AGU-SCP) における演習科目の現状と課題

The current situation and issues of project-based learning in Aoyama Gakuin University Sports Career Program (AGU-SCP)

<プロジェクト・メンバー>

佐藤敏彦^{†1}, 苅宿俊文^{†2}, 稲積宏誠^{†2}

Toshihiko Satoh, Toshibumi Kariyado, Hiroshige Inazumi

^{†1} 青山学院大学大学院 社会情報学研究科

Graduate School of Social Informatics, Aoyama Gakuin University

^{†2} 青山学院大学 社会情報学部

Aoyama Gakuin University School of Social Informatics

抄録：青山学院大学社会情報学部では2015年度より全学部の体育会学生を対象としたスポーツキャリアプログラム (AGU-SCP) を主宰している。本プログラムはアスリートとしての経験を活かしながら、社会情報学部の教育で目指す「4つの力」即ち、「数理的な素養」、「論理的な思考」、「情報の高度な応用」、「豊かなコミュニケーション能力」をアスリートの経験を身につけることにより、これからの社会で活躍できる人材を養成することを目的としている。演習は3日間集中で行われ、2018年度には夏期休暇中に3回、後期期間中に1回、年末に1回、後期試験後に2回の計7回実施し、受講者はのべ約200名であった。開始から四年が経過し多くの課題が明らかになった一方、演習の内容については論理的思考やコミュニケーション能力などを兼ね備えたアスリートの育成という当初の目的に合致した一定の成果が挙げられているものと考えられる。今後はこれらの演習内容や提供方法を改善し、より多くの学生に受講できるものとしていきたい。

キーワード：スポーツキャリアプログラム, プロジェクト演習, 論理的思考, コミュニケーション能力

Keywords: Sports career program, Project-based learning, Logical thinking, Communication ability

1. はじめに

少子高齢化社会を維持するためには、高齢になっても元気で介護の必要のない健康な心身を維持することが必要であり、「健康寿命」の延伸が大きな目標として掲げられているが、その目標達成のためにスポーツが大きな役割を果たすことが期待されている。

これからの社会において重要な課題となる健康とスポーツに関連する産業に多くの人材が求められることが予想される。青山学院大学では社会情報学部が主体となり、2015年度より全学部の体育会学生を対象としたスポーツキャリアプログラム (AGU-SCP) を実施している。本プログラムはアスリートとしての経験を活かしながら、社会情報学部の教育で目指す「4つの力」即ち、「数理的な素養」、「論理的な思考」、「情報の高度な応用」、「豊かなコミュニケーション能力」

をアスリートの経験を身につけることにより、これからの社会で活躍できる人材を養成することを目的としている。プログラム全体の紹介については昨年度に既に報告済であるので、本稿では、本プログラムを構成する演習科目のこれまでの実施状況をレビューし、本プログラムが目指す人材育成の目的との整合性について検討したい。

2. 演習科目の種類と実施内容像

演習科目として6つの科目（「健康スポーツキャリア演習A, B」, 「スポーツビジネスキャリア演習A, B」, 「地域スポーツ演習」, 「生涯スポーツ演習」）を用意している。いずれも3日間の集中開催により各2単位を取得できる。科目により、夏期休暇、冬期休暇あるいは3週にわたる土曜日の実施形式を取っているが、その他に、「特別演習」と称し、体育会単位で各部毎に日程を別途定め実施することも行っている。2018年度は陸上競技部長距離部門、男子バスケットボール部、女子バレーボール部の3つの部に対して実施した。それぞれの演習の概要は以下のとおりである。

(1) 健康スポーツキャリア演習 A

8月第4週に実施。社員の「健康づくり」の企画立案をグループワークにより行った。この中で、健康の定義や評価方法、リスク因子、さらに行動変容の方法などについて講義と自己学習により学んだ。

(2) スポーツビジネスキャリア演習 A

8月第5週に実施。これからのスポーツビジネスの可能性について考える演習。この中で、現在のスポーツビジネスにはどのようなものがあり、実際にどのように行われているかの講義を受けた後、アスリートの優位性を話し合い、今後のスポーツビジネスの企画をグループワークで行った。

(3) 健康スポーツキャリア演習 B

11月の土曜、3週にわたり実施。健康状態や体力の新たな評価方法の企画立案をグループワークにより行った。この中で、現行の健康診断や体力測定の課題や限界を知り、今後の社会において求められるものをグループ毎に議論した。

(4) スポーツビジネスキャリア演習 B

スポーツデータ分析を取り扱う演習。2018年度は、子供の体力測定データを実際に測定、取得し、それらをどのように評価するかを考え、これに関連したビジネスの可能性についてグループワークで検討する予定である。

(5) 陸上競技部長距離部門特別演習

夏期合宿中および9月第一週に実施。個人と組織の健康をどのようにして評価し、改善していくかを考える演習。この中で、実際に合宿中に心拍測定を行ったスマートウォッチや人体解剖アプリ等、最新の機器の利用法を考えるグループワークを実施した。

(6) 男子バスケットボール部特別演習

12月第4週に「セルフコンディショニング：身体と精神の自己調整法を考える」をテーマに実施。身体コンディショニングや精神の自己調整法を学び、実際にワークを行ったうえで、これらを部活動にどう取り入れるかのグループワークを実施した。

(7) 女子バレーボール部特別演習

1月第5週に実施。セルフコンディショニングの実践と論理的思考のワークを行ったうえで、これらを部活にどのように活かすかを企画立案するグループワークを実施した。

(8) 地域スポーツ演習

(9) 生涯スポーツ演習

「スポーツワークショップ」の企画、運営、省察を実際に相模原キャンパス周辺の小中学生向けに実施する演習。今年度は休講。

3. 考察：成果と課題

上述したように、2018年度は各演習に延べ約200名が参加したが、そのうちの半数は3つのクラブの全体参加での演習であった。残りの100名のうち約8割は社会情報学部の学生であり、他学部学生の履修は2割弱に留まった。これは他学部学生にプログラムの存在が十分周知されていないことに加え、社会情報学部ではこれらの演習が演習科目として見なされるのに対し、他の学部では自由選択科目となることから、学生にとって履修のメリットが小さいと認識

されてしまうことによるのかもしれない。

実習内容の受講学生からの評価は概ね良好であり、「有意義だったか」という問いに対しては、いずれの演習においても7割以上の学生が、6段階評価で5以上（「とてもそう思う」または「そう思う」）の回答であった。一方、自由回答からは「一日の拘束時間が長い」「3日間の内容がやや整合性に欠ける」などの意見もあり、今後のカリキュラム編成には改善の余地がある。

「はじめに」で述べたように、本プログラムはアスリートとしての経験を活かしながら、社会情報学部の教育で目指す「4つの力」即ち、「数理的な素養」、「論理的な思考」、「情報の高度な応用」、「豊かなコミュニケーション能力」をアスリートの経験を身につけることにより、これからの社会で活躍できる人材を養成することを目的としている。社会情報学部では、従来「プロジェクト演習」という科目を設定し、グループワークを通じて協働的に問題解決能力を養う取り組みを行っている。この取り組みを通じて「4つの力」のうち、特に「論理的思考」と「コミュニケーション能力」が養われることが期待できるものである。「プロジェクト演習」では、相模原市などの行政の課題や、多種

多様な企業の経営課題をテーマとしているが、本プログラムの演習はテーマをスポーツ・健康に絞っているということ。プロジェクト演習は半期に亘り実施する一方、本プログラムは3日間の集中で行う、という差異はあるものの、目的、内容はほぼ同様のものと言えよう。課題の抽出、情報収集・評価、企画・プランの策定をグループで討議しながらスライド資料を作成し、プレゼンテーションをするというプロセスを、スポーツや健康という体育会学生にとって日頃から関心のあるテーマで行うことのメリットは大きいものと思われる。

4. おわりに

青山学院大学スポーツキャリアプログラム（AGU-SCP）は、開始から四年が経過し多くの課題が明らかになった一方、演習の内容については当初の目的に合致した一定の成果が挙げられているものと考えられる。今後、これをさらに集約、改善し、より多くの学生に受講できる体制を整えていく予定である。

参考文献

1. 佐藤 敏彦, 苅宿 俊文, 稲積 宏誠. これからの社会で活躍できる人材を育成するスポーツキャリアプログラムの開発について- 青山学院大学スポーツキャリアプログラム (AGU-SCP) . 青山社会情報研究 2017(9)68-72
2. 青山学院大学スポーツキャリアプログラム <http://aguscp.jp/> Accessed 2019.1.30